

Press Release

2007-09-18 No.07-14

曙ブレーキ、新会社設立に関するお知らせ

曙ブレーキ工業株式会社(代表取締役社長:信元久隆 本店:東京都中央区 本社:埼玉県羽生市)は、本日開催の取締役会において「産業機械・鉄道車両用ブレーキの販売に関する合併会社設立」について決議いたしました。

本件については、昨年 12 月に実施した伊藤忠商事株式会社との業務提携以降、両社で検討を重ねてまいりました。今後、産業機械・鉄道車両用ブレーキ事業の拡大を図っていくにあたり、当社が製造する産業機械・鉄道車両用ブレーキの販売に関して、伊藤忠グループの商圏や販売ノウハウの活用により、特に海外のお客様開拓を中心とした拡販を行うため、当社と伊藤忠グループの共同事業を目的に合併会社を設立するものです。

新会社の社名は、「曙ブレーキ産機鉄道部品販売株式会社」とし、当社が 60%、伊藤忠オートモービル株式会社が 40%を出資する当社の連結子会社となります。2007 年 10 月 1 日の設立を予定しており、当初は市場調査から事業を開始いたします。

現在の産業機械・鉄道車両用ブレーキ事業は、約 100 億円(2007 年 3 月期)の売上規模で、そのほとんどが国内のお客様への販売となっています。今後、この合併会社設立により、海外向けビジネスの拡大を図り、2010 年度には、産業機械・鉄道車両用ブレーキ事業全体で売上高 150 億円(内、新会社売上高 30 億円)にまで引き上げる計画です。

(新会社概要)

- 会社名 曙ブレーキ産機鉄道部品販売株式会社
(Akebono Brake Industrial & Rolling Stock Component Sales Co.,Ltd.)
- 本社所在地 埼玉県羽生市
- 発行可能株式総数 24,000 株
- 資本金 3 億円
- 設立時発行株式数 6,000 株
- 出資比率 曙ブレーキ工業(株)60%、伊藤忠オートモービル(株)40%
- 代表者 代表取締役社長 後藤 和彦
(現 曙ブレーキ工業(株)取締役専務執行役員)
- 従業員数 6 名
- 設立予定日 2007 年 10 月 1 日(予定)

曙ブレーキ工業株式会社(東京証券取引所第一部:コード番号 7238)は、1929年の創業以来、一貫してブレーキおよびブレーキ用摩擦材の開発・生産・販売を行ってまいりました。現在は、自動車用から自動二輪車用、鉄道車両用、産業機械用などのブレーキ事業の他、自動車用を中心としたセンサー事業を展開しており、ブレーキ用摩擦材となるディスクブレーキパッドの自動車向け OEM では国内シェア約 40%、世界シェアでも約 20%と高いシェアを有しています。

グループ全体での従業員数は 7,000 名近くにのぼります。

開発機能を、日本、アメリカ、フランスに持ち、生産拠点は日本、アメリカ、フランス、中国、タイ、インドネシアにあります。

2006年度(2007年3月期)には、売上高1,732億円と過去最高を更新いたしました。

詳しくは www.akebono-brake.com をご覧ください。